

# 「明治政界の奥座敷」大磯

## 明治時代の大磯

江戸時代の大磯町は東海道の宿場町として栄えました。富士山、三浦半島が望めるなど自然景観に優れ、行楽の地としての魅力をもつ大磯は、明治時代になると、医師であり政治家でもあった松本順が海水浴の効能を広め、明治18年(1885)に、日本で初めての療養を目的とした海水浴場を開設したことで人気を博しました。

さらに、明治20年(1887)には東海道線の大磯駅が開業したことで、別荘地として急速に発展しました。

## 明治政界の要人が集う

やがて大磯には、明治期に総理大臣として活躍した伊藤博文、山縣有朋、大隈重信など8人の総理経験者が建物を所有するなど、明治政界の要人たちが集まり、別荘や邸宅を築いたことから「明治政界の奥座敷」と呼ばれるようになりました。



明治後期頃の大磯駅(大磯停車場)



「大磯海水浴富士遠景図」(明治後期) 大磯町郷土資料館 所蔵

|      |                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 期間   | 2018年<br>10月23日 <sup>火</sup> ～12月24日 <sup>月</sup>                                       |
| 会場   | 明治記念大磯邸園<br>(神奈川県中部大磯町西小磯85ほか)                                                          |
| 開園時間 | 9:00～16:30<br>※最終入園は16:00まで。                                                            |
| 休園日  | 水曜日(ただし、10月24日は開園)<br>※詳細は国営昭和記念公園事務所HPからご確認ください。                                       |
| 入園料  | 無料                                                                                      |
| 主催   |  国土交通省 |
| 協力   | 神奈川県・大磯町                                                                                |



|                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| お問い合わせ                                                                                                                                                                             |
| 国営昭和記念公園事務所大磯分室<br>TEL: 0463-79-8700 月～金(土・日・祝日を除く) 9:00-17:00<br>詳しくは国営昭和記念公園事務所ホームページ<br><a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/showa">http://www.ktr.mlit.go.jp/showa</a> をご確認ください。 |



# 明治記念大磯邸園 明治150年記念公開



## 明治記念大磯邸園 明治150年記念公開にあたり

本年は明治元年から起算して満150年にあたります。政府では、明治150年をきっかけに、明治以降の近代化の歩みを次世代に遺すことや、明治の精神に学び、日本の強みを再認識することが重要との観点から、「明治150年」関連施策を推進しています。

明治以降の近代化の歩みの一つとして、明治憲法の制定や議会の設置など立憲政治の確立が挙げられます。立憲政治の確立は、近代国家建設に向けた取組の中で重要なものでした。

ここ大磯では、明治期の立憲政治の確立に重要な役割を果たした伊藤博文や大隈重信の邸宅等の歴史的遺産が集中して残されています。

国土交通省では、神奈川県や大磯町と連携し、旧伊藤博文邸(滄浪閣)を中心とする歴史的な建物群や緑地を一体的に保存・活用するため、「明治150年」関連施策として、「明治記念大磯邸園」の整備を進めています(平成29年11月21日閣議決定)。

本年は明治改元から満150年にあたることを記念し、改元の日である10月23日より区域の一部を公開します。旧大隈重信邸や旧陸奥宗光邸等の庭園の観覧、邸宅のガイドツアーとともに、明治期の立憲政治や各邸宅の人物にゆかりのある資料の展示を行います。



滄浪閣前庭にて 伊藤博文(右)と大隈重信(左)



## 旧伊藤博文邸(滄浪閣)



旧伊藤博文邸(滄浪閣) 洋館(外観) (1992年頃撮影)



旧伊藤博文邸(滄浪閣)の和館(明治時代後期)



## 伊藤博文

- 伊藤博文は、初代内閣総理大臣であり、大日本帝国憲法を起草するなど、立憲政治の黎明期に大きな役割を果たしました。
- 明治29年に別荘を小田原から移転し、「滄浪閣」と名付けました。関東大震災後に再建された建物のうち、洋館と和館部分が当時の状況を留めています。別荘地大磯の代表的建物として、町の指定有形文化財となっています。

※旧伊藤博文邸は外観のみ、ガイドツアーでの観覧となります。

### ●総合案内・事業紹介ブース

総合案内では、入園受付やガイドツアーの受付を行っています。  
事業紹介ブースでは、明治150年関連施策紹介や、明治期の立憲政治、各邸宅の人物等に関するパネル展示、映像上映を行っています。



## 旧大隈重信邸



旧大隈重信邸 神代の間(外観)



旧大隈重信邸 富士の間 ※期間中は展示物があります。



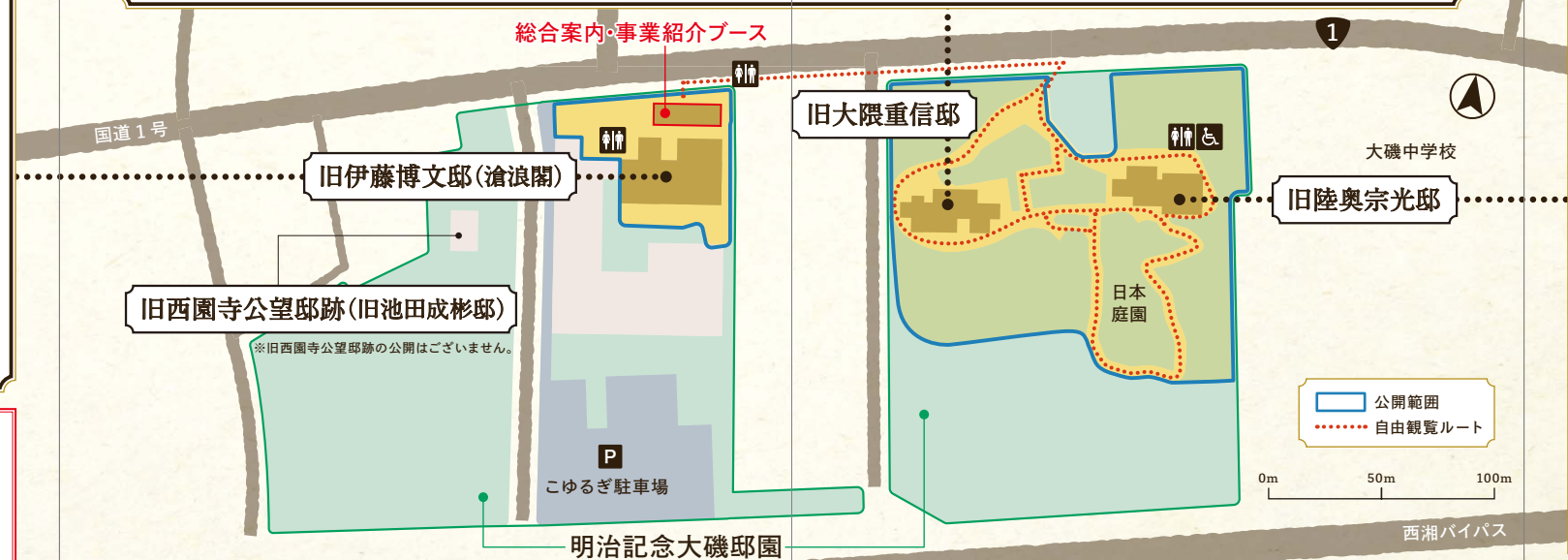
旧大隈重信邸 神代の間

## 大隈重信



- 大隈重信は、明治時代に総理大臣を2度経験、日本初の政党内閣を組織し、早稲田大学を創設しました。
- 現邸宅は、明治30年に別邸として建築され、貴重な神代杉をふんだんに用いた“神代の間”や、社交家の大隈がよく宴を開いたといわれている“富士の間”がご覧になれます。

※邸宅内部はガイドツアーのみの観覧となります。



## 旧陸奥宗光邸



旧陸奥宗光邸 日本庭園



庭園に面したモダンな和室

- 陸奥宗光は、第2次伊藤博文内閣の外務大臣に就任し、不平等条約の改正に尽力しました。
- 現邸宅は、明治27年に別邸として建築された後、関東大震災で大破し、その後修復したものです。三方を縁側に囲まれたモダンな和室や海に向かって位置する日本庭園がご覧になれます。

※邸宅内部はガイドツアーのみの観覧となります。

## 陸奥宗光



扁額が掲げられた玄関

### 主な展示物



- 杉戸絵湯川松堂作(株式会社 漢泉 所蔵) 大磯町指定有形文化財

明治天皇から伊藤博文に下賜された杉戸。皇室の御用絵師・湯川松堂により2組の杉戸の表裏に「静御前の舞」「野見宿禰の相撲」などが描かれている。



- 大日本帝国憲法(複製) 国立公文書館 所蔵  
明治22(1889)年2月11日、明治天皇によって制定・公布された欽定憲法。内閣総理大臣 黒田清隆の隣に、枢密院議長 伊藤博文、その隣に外務大臣 大隈重信の署名がなされている。



- 大隈重信の上奏文(複製) 伊藤博文筆 国立国会図書館 憲政資料室 所蔵  
明治14(1881)年に大隈重信が密奏した意見書。イギリス流議院制の採択と憲法制定を説く急進的なものであった。当史料は、明治天皇の手許にあった意見書を借覧した伊藤博文が自ら複写したもの。



- 大隈重信演説(音声展示) 音声：国立国会図書館 所蔵  
大正4(1915)年、衆議院総選挙に先立ち、大隈重信が吹き込んだ演説レコードである「憲政における輿論の勢力」。



- 日墨修好通商条約(複製) 外務省外交史料館 所蔵  
明治21(1888)年、日本とメキシコの間で結ばれた条約。相互の通商航海の自由・安全を保障し、治外法権を認めない平等条約であった。駐米公使である陸奥宗光の署名がなされている。



- 蹇蹇余録草稿(複製) 上巻(複製) 国立国会図書館 所蔵  
外務大臣陸奥宗光の外交回想録。陸奥が大磯での持病療養中に記した。明治28(1895)年12月に脱稿、翌年印行したが、外交機密を多く含んでいたため長らく秘本扱いとされていた。

※上記展示物は旧大隈重信邸・旧陸奥宗光邸など、邸宅ガイドツアーでご覧になれます。